

「大丈夫だよ 私と僕で守るから」 (保護者)

長女が14歳、長男が12歳の時に歳の離れた妹が生まれました。「出産の時は近くでママを応援したい。」と言ってくれていた子どもたちでしたが、残念ながら近くにおらず、赤ちゃんとの対面は2日後でした。実は妹は右手に障害を持って生まれてきました。このことを子どもたちに話すと、笑顔で「大丈夫だよ。私も(僕も)守るから」と答えてくれた子どもたち。赤ちゃんに「ゴメンネ。」と謝り続けていた私は心から「生まれてきてくれてありがとう。」と思い、2人の子どもたちの言葉に救われました。

「みんなで食べるご飯はおいしいね」 (地域の方)

緊急事態宣言が発令され、家族5人全員が揃って家にいる時間が多くなりました。今まであまり気にしたことのないことでしたが、改めて考えるとこれ程まで一緒に食事ができたことはなかったと思います。大変な世界事情の中ではありますが、家族で過ごす時間を楽しめ、貴重な時間となったことを実感しました。

「地域の眼差し」 (中学生)

朝ランニングをしていると、「前、ボールをつきながら走った子か?」と、おじいさんに声をかけられました。小学6年生の時に走っていた私の姿を覚えていてくれました。そして、「頑張るとるなあ」と言われ、朝、走るのが少し楽しみになったし、地域の人が自分のことを覚えていてくれたのがうれしくて、心があたたかくなりました。

「いつもありがとう」 (地域の方)

3月から休校となり、お家時間が増えました。すると、朝食後、乾しておいた食器を片付け、朝食で使用した食器を洗ってくれるようになりました。時間がある時は昼食を作ってくれる日も。自主的にお手伝いをしてくれるだけでもうれしかったのですが、お手伝いすることで家事の大変さに気づいてくれて、「ママってこれを毎日やっているんだよね。これ以外にも家のことがあって大変だね。いつもありがとう。」と声をかけてくれました。娘の言葉に心がポカポカとあたたかくなりました。

「笑顔を忘れちゃだめだよ」 (中学生)

私の祖父はガンで亡くなりました。闘病中は私も一日でも長く生きてほしいため、一生懸命お世話しました。はじめの頃は、一緒にご飯を食べたり、散歩したり、まるでガンがなくなったかのような元気な姿が見れました。徐々に体力が落ちてくるのがわかりました。食事も取れなくなり、笑顔も消えていくのが目に見えてわかりました。私まで悲しい顔をしてはいけないと思い、笑顔を忘れないように祖父と接しました。別れが近づくにつれて、会話もなくなり、祖父がふりしぼった声で「ありがとう、笑顔を忘れちゃだめだよ。」が最後でした。私は今でも辛い時悲しい時があった時は心の中で笑顔と祖父から言われたことを思い出しています。

「よく、がんばったよ」 (小学生)

学級である取組をしていて、私が疲れかけていたときに、担任の先生がかけてくれた言葉。「がんばれ」や「がんばって」という言葉はよく耳にするけど、「よくがんばったよ。」この言葉にあまりなじみがなかった。でもかけてもらったとき、自分のことが認められた気がしてすごくすごく嬉しかった。この言葉だけがもつ力を知った私は自分もがんばる仲間にもいつもとは少しちがう勇気づけられるようなこの言葉をかけてみようと思う。

「いじめるやつなんかほかっておけ、その分お前は人に優しくしろ」 (高校生)

この言葉は両親にかけてもらった言葉です。私は背も小さいことから小学生のとき、いじめられることが多くありました。同級生だけではなく、先輩方からの嫌がらせも多々ありました。それを知り、悲しくなり、両親の前で打ち明けた時に言われた言葉です。この言葉のおかげで精神的に強くなれたし、仲間に優しく接することができ、友達も増えました。

「サンタさんに、コロナの薬をたくさんお願いする」 (保護者)

コロナでどこにも行けないね〜と話をしていたら、子どもが今年のクリスマスは、サンタさんにコロナの薬をたくさん病院に届けてもらう!と言っていて、優しさと成長を感じました。

「声をかけてくれてありがとう」 (小学生)

私は少し人見知りだ。時々、輪に入れずに一人で休み時間を過ごしている。そんな中、クラスメイトの女の子が話しかけてくれた。「これ、かわいいね」や「好きなもの、何?」と。私はとてもうれしく感じた。その子が一番の友達になった。



「おじさんおはよう いつもありがとう」 (保護者)

「おじさんおはよう。いつもありがとう」登下校の見守りをしていると多くの子どもたちから元気なあいさつをもらい、とても嬉しい気持ちになります。都合が悪く、いつもの場所に立てなかった日の次の日には、必ず「昨日、いなかったけれど大丈夫?」と声をかけてくれる子もいます。その言葉を聞くととても温かい気持ちになり、見守り活動を続けなくては・・・と意欲がわいてきます。笑顔と共にかけてくれる子どもたちからの優しい言葉が今でも心に残っており、私の元気の源になっています。



あったかい言葉かけ運動

いじめをきしなさい！

させなさい！

許さなさい！



あったかい言葉かけ県民運動

発行：令和3年3月 岐阜県教育委員会学校安全課

制作：岐阜県立土岐紅陵高等学校総合学科美術・工芸系列

令和3年度「あったかい言葉かけ運動」作品募集（4月1日募集開始）

【申込方法】↓

この運動は、思いやりあふれるあったかい関係を地域社会でつくり出すことで、いじめを未然に防ぐことをめざしています。学校や家庭、地域などで交わした人との「ぬくもり」や「きずな」が感じられる「こころ」をあったかくする『言葉』をそのエピソードとともに募集します。詳しい申込方法は、右のQRコードをご覧ください。

